

「高齢者虐待」とは「高齢者が他人からの不適切な扱いにより権利を侵害されたり、生命や健康、生活が損なわれる状態に置かれる」という基本的な定義のものと種類としては①「身体的虐待」、②「性的虐待」、③「心理的虐待」、④「無視、言葉、行動、運動抑制」などがあります。

施設で働く職員が高齢者への虐待をどう捉えているのか、利用者や家族の意識とのズレはないか、などについてお互いの意見を積極的に述べました。

「高齢者虐待」では私たち福祉施設で働く職員が高齢者への虐待を侵害されたり、生命や健康、生活が損なわれる状態に置かれることが多いです。

このままでは全職員を対象に大阪市

より福野初夫氏(㈱リブドウコーポ

レーション)をお招きし、年に5回程度勉強会を開催しています。

これまでに「認知症、接遇、虐待」等

社会でも注目度の高いテーマを取

り上げて、介護現場に関わる実践的

な視点から分かりやすく時に笑いを

交えながら学んできました。

令和元年11月18日(水)午後7時

からは「虐待」をテーマとしたグルーブワーク中心の勉強会がおこ

なわれました。

グルーブワークでは私たち福祉施設で働く職員が高齢者への虐待を侵害されたり、生命や健康、生活が損なわれる状態に置かれることが多いです。

このままでは全職員を対象に大阪市

より福野初夫氏(㈱リブドウコーポ

レーション)をお招きし、年に5回

程度勉強会を開催しています。

これまでに「認知症、接遇、虐待」等

社会でも注目度の高いテーマを取

り上げて、介護現場に関わる実践的

な視点から分かりやすく時に笑いを

交えながら学んできました。

令和元年11月18日(水)午後7時

からは「虐待」をテーマとしたグルーブワーク中心の勉強会がおこ

なわれました。

グルーブワークでは私たち福祉

施設で働く職員が高齢者への虐待

を侵害されたり、生命や健康、生活

が損なわれる状態に置かれるこ

と」という基本的な定義のものと

種類としては①「身体的虐待」、

②「性的虐待」、

③「心理的虐待」、

④「無視、言葉、行動、運動抑

制」などがあります。

## 『大名 職員勉強会』

### 知つこほしい私たちの取り組み

情緒 ④「経済的虐待」⑤「ネグレ

クト（介護放棄）」があります。



また別の機会では「認知症」について「認知症」とひと括りに捉えるのではなく「アルツハイマー病、レビー小体型、脳血管性」等それぞれの種類の特徴や、症状について脳の器質的に正しく理解して、科学的な根拠にもとづいたケアを提供する



ことが大切であると学びました。病気に無理解な職員の何気ない言動が利用者や家族の不安や不信感を高めてしまい、施設への信頼を損ねる事にもつながります。「2025年問題」(団塊世代の高齢化)の前にして、自分の働く事業所へ自分の親を安心して預けることができると問われる場面もありました。適切なケアは職員が正しい知識を身につけて高齢者への「共感的な理解」を深めることができます。日々研鑽を重ねて介護スキルを高めていくことはわたしたち職員の義務であると受け止めています。

### 参加者の声

施設サービス課

介護員 城間 治樹

(平成30年2月入職)

「毎回勉強会には率先して参加しています。福野先生の話は自分たち若い職員にも分かりやすく楽しく学ぶことができます。

今回のテーマの「虐待」は良く耳にはするのですが、どんな内容なのか正直分かつていませんでした。

入居者が日々施設という集団で暮らす中でどんなストレスを受けてそれをどうとらえているのか本人の気持ちを汲み取ることや、わたしたち職員が無意識に使っている言葉が相手を傷つけている(人権を侵害している)場面があることに気付くことができました。

グルーブワークでは他事業所の職員と意見を交わす事でお互いの立場や仕事への考え方を知ることができたのも良かったです。

## 新年のごあいさつ

社会福祉法人ゆうな会  
理事長 神谷 幸枝



産首里城が炎上、ア棟が消失しましたが、火災の映像が流れるたびに今でも涙が流れます。すでに県内外の方々から励ましや支援が始まっています。「ひやみかち沖縄！」さて今年は、初代理事長の(故)神谷幸夫が「社会福祉法人ゆうな会」を設立して四十五年の節目の年となります。

私たち創設者の福祉に対する思いやこれまでの歩みを大切にしながらも、十年、二十年、そして三十年先を見据えなければなりません。新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては清々しいお気持ちで新年を迎えたこと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、ゆうな会の事業運営に多大なるご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。振り返ると昨年は激動の一年でした。時代が平成から令和へと移りとても厳かな気持ちである一方、県内外の大震や地震による度重なる被災には大変胸が痛くなりました。また11月には沖縄の語る世界遺産

が、また今年は、特別養護老人ホーム大名は昭和五十四年に設立して、今年開設四十一年をむかえます。特別養護老人ホーム大名は昭和五十四年に設立して、今年開設四十一年をむかえます。当初は定員七十床から始まり、五年後の昭和五十九年四月には百床へ増床しました。また昭和五十年後ろの昭和五十九年四月には百床へ増床しました。また昭和五十年後ろの昭和五十九年四月には百

床へ増床しました。また恩納村の中学生に対する三階建て、全室個室の※ユニット型の施設として生まれ変わります。※「ユニット型施設」とは入居者十名を一つのグループ(ユニット)として馴染みのある方同士で生活し、ユニット毎に同じスタッフがお世話をすることで、家庭的な空間の中でお一人おひとりに合った細やかなケアが実現できます。

また個室となることでプライバシーがより尊重され、時にご家族が一緒に泊まることも可能となります。ゆつたりとした時間の中で入居者お一人ずつに「自分のペースでおいしい食事を食べいただき」「自分の時間を自分の通りに過ごしていただく」これが私の描く理想の暮らしであり、新しい施設でそれが実現出来るよう今から準備をすすめたいと考えています。

特別養護老人ホーム谷茶の丘、

五年十一月には九州で初のデイサー ビスセンターを立ち上げました。地域の皆さんに支えられながら重ねてきたかけがえのない思い出は挙げれば数えきれませんが、その一つが今でも私の支えであり、励みとなっています。

新生特別養護老人ホーム大名は、三階建て、全室個室の※ユニット型の施設として生まれ変わります。※「ユニット型施設」とは入居者十名を一つのグループ(ユニット)として馴染みのある方同士で生活し、ユニット毎に同じスタッフがお世話をすることで、家庭的な空間の中でお一人おひとりに合った細やかなケアが実現できます。

これからも「皆様に貢献し選ばれる法人」「職員が安心して働き続けることができる組織」となるよう努力を重ねてまいります。また今年は、特別養護老人ホーム大名の建替え工事が始まります。特別養護老人ホーム大名は昭和五十四年に設立して、今年開設四十一年をむかえます。当初は定員七十床から始まり、五年後の昭和五十九年四月には百床へ増床しました。また昭和五十年後ろの昭和五十九年四月には百床へ増床しました。また恩納村の中学生に対する三階建て、全室個室の※ユニット型の施設として生まれ変わります。※「ユニット型施設」とは入居者十名を一つのグループ(ユニット)として馴染みのある方同士で生活し、ユニット毎に同じスタッフがお世話をすることで、家庭的な空間の中でお一人おひとりに合った細やかなケアが実現できます。

また恩納村の中学生に対する三階建て、全室個室の※ユニット型の施設として生まれ変わります。※「ユニット型施設」とは入居者十名を一つのグループ(ユニット)として馴染みのある方同士で生活し、ユニット毎に同じスタッフがお世話をすることで、家庭的な空間の中でお一人おひとりに合った細やかなケアが実現できます。

今年も皆様から引き続き安心して下さい。今年も、継続して次代を担う中小学生の福祉教育や地域との交流に力を入れてまいります。

今年で開設八年目を迎えるしき

五一

年十一月には九州で初のデイサー ビスセンターを立ち上げました。

地域の皆さんに支えられながら重ねてきたかけがえのない思い出は挙げれば数えきれませんが、その一つが今でも私の支えであり、励みとなっています。

また恩納村の中学生に対する三階建て、全室個室の※ユニット型の施設として生まれ変わります。※「ユニット型施設」とは入居者十名を一つのグループ(ユニット)として馴染みのある方同士で生活し、ユニット毎に同じスタッフがお世話をすることで、家庭的な空間の中でお一人おひとりに合った細やかなケアが実現できます。

これからも「皆様に貢献し選ばれる法人」「職員が安心して働き続けることができる組織」となるよう努力を重ねてまいります。また今年は、特別養護老人ホーム大名の建替え工事が始まります。特別養護老人ホーム大名は昭和五十四年に設立して、今年開設四十一年をむかえます。当初は定員七十床から始まり、五年後の昭和五十九年四月には百床へ増床しました。また昭和五十年後ろの昭和五十九年四月には百床へ増床しました。また恩納村の中学生に対する三階建て、全室個室の※ユニット型の施設として生まれ変わります。※「ユニット型施設」とは入居者十名を一つのグループ(ユニット)として馴染みのある方同士で生活し、ユニット毎に同じスタッフがお世話をすることで、家庭的な空間の中でお一人おひとりに合った細やかなケアが実現できます。

今年も皆様から引き続き安心して下さい。今年も、継続して次代を担う中小学生の福祉教育や地域との交流に力を入れてまいります。

今年で開設八年目を迎えるしき

五一

年十一月には九州で初のデイサー ビスセンターを立ち上げました。

地域の皆さんに支えられながら重ねてきたかけがえのない思い出は挙げれば数えきれませんが、その一つが今でも私の支えであり、励みとなっています。

また恩納村の中学生に対する三階建て、全室個室の※ユニット型の施設として生まれ変わります。※「ユニット型施設」とは入居者十名を一つのグループ(ユニット)として馴染みのある方同士で生活し、ユニット毎に同じスタッフがお世話をすることで、家庭的な空間の中でお一人おひとりに合った細やかなケアが実現できます。

これからも「皆様に貢献し選ばれる法人」「職員が安心して働き続けることができる組織」となるよう努力を重ねてまいります。また今年は、特別養護老人ホーム大名の建替え工事が始まります。特別養護老人ホーム大名は昭和